学校番号	T3006

平成 31 年度　工業科

教科	工業	科目	生産システム技術	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	生産システム技術　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書を中心に、ノートをまとめ、生産技術を学ぶ。

2　学習の到達目標

生産システムに関する知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・生産システム技術に興味・関心をもち、生産工業と社会とのかかわりについて意欲的に取り組み、実践的で真剣な態度を身に付けている。	・生産システム技術に関する諸問題の適切な課題解決をめざし、基礎的な知識と技術を活用して判断し、その結果を的確に表現する能力を身に付けている。	・生産システム技術の各分野に関する基礎的な技術を身に付け、生産者(技術者)としての責任ある取り組み、安全作業や事故防止の手法を実験・実習で体得し、実際の課題を適切に処理する技能を身に付けている。	・生産システム技術に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、コンピュータによる生産の合理化や統括生産の意義や役割を理解している。
評価方法	①ノート、課題提出等で評価する。 ②授業中の質問の応答程度等で評する。 ③出欠状況・忘れ物等についても評価する。	①授業中の注意力・熱意の程度で評価する。 ②授業中の態度を評価する。	指導内容のまとめとして、ペーパーテスト、レポート等により評価する。	各定期考査にもとづいて評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	直流回路	電気回路の概要 オームの法則を基本に抵抗などの要素 ジュール熱、仕事	○			○	a: 直流回路に興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。 d: 直流回路の意義や役割を理解しているか。	出席 授業態度 レポート 考査
	磁気と静電気	電流と磁気 磁気作用とその応用 静電気とコンデンサー		○		○	b: 磁気・静電気に関する正しい思考・判断ができているか。 d: 磁気・静電気の意義や役割を理解しているか。	出席 授業態度 レポート 考査
後期	交流回路	交流の基本的取扱 交流回路 交流電力 三相交流	○		○		a: 交流回路に興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。 c: 交流回路に関する作業が正確に行えるか。	出席 授業態度 レポート 考査
	電子回路	半導体 ダイオード トランジスタ 集積回路	○				a: 電子回路に興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。	出席 授業態度 レポート 考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。